

平成30年度 学校関係者評価報告書

NO. 33 市川市立大野小学校

		確かな学力	豊かな心	健やかな体	信頼される学校
1	実施重点	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的、基本的な学習内容の定着。 ・校内研究の充実による自ら学び、思考し、表現する力の育成。 ・家庭学習の取り組みの確認と定着の啓発。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育、人権教育の充実。 ・学校経営基本方針の具現化として、自己肯定感や自己効力感を持たせ、他者貢献の大切さを知らせる。 ・生徒指導、教育相談活動の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育行事への積極的な取り組み。 ・日常的な体力づくり。 ・安全教育の充実。 ・健康に対する意識の高揚。 	<ul style="list-style-type: none"> ・迅速かつ丁寧な保護者対応 ・学校情報の迅速かつ適切な発信 ・保護者、地域との連携 ・学校の安全に関する取り組みの充実
2	現状と課題	<p>学校評価児童肯定的評価（前、後期比較）</p> <p>「学校の勉強がよくわかる」90%→91% 「よく発表をする」63%→62%</p> <p>学校の勉強がよくわかるは、90%をこえているが、学力状況調査の結果は、全国平均をやや下回る。意欲に裏付けされた基礎学力を確実に定着させられるような努力が必要。興味を持って学習に参加する子どもたちを育成するための手立てが必要。</p>	<p>学校評価児童肯定的評価（前、後期比較）</p> <p>「自分の役割に責任を持つ」91%→91% 「誰とでも仲良くできる」91%→89% 「楽しく学校に通っている」92%→86%</p> <p>自分や周りの人を大切にすることを育てる教育を進めているが、友達と関係に悩んだり自己肯定感を持てずいたりする子どもたちもいる。今後もきめ細かく一人一人を見ていくことが必要。</p>	<p>学校評価児童肯定的評価（前、後期比較）</p> <p>「運動が好き」90%→92% 「安全に気を付ける」92%→93% 「好き嫌いをしない」81%→84%</p> <p>児童が主体的に体を動かしたくなる取り組みの成果が出ている。栄養士を中心とした食育を促進、児童の安心安全を確保する取り組みの継続。</p>	<p>学校評価保護者肯定的評価（前、後期比較）</p> <p>「思いや願いに適切な対応」89%→89% 「様子を十分に伝えている」91%→91% 「児童の安全に努めている」95%→92%</p> <p>保護者対応について、組織として共通理解を深め、きめ細かく対応することに心がけた。安全に関して各種訓練をはじめ安全点検や通学路の安全への要望等を行った。</p>
3	具体的な方策	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝15分の「朝の基礎トレタイム」では学年ごとに弱点克服のために工夫。 ・児童が主体的に学習に取り組めるようにするための研究授業と若年層研修の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> ・異学年交流の場の「縦割りの清掃」を充実。 ・「学校支援実践講座」「人権教室」の開催。 ・道徳の授業の充実、研修会の開催。 ・毎月末の大野っ子アンケートの実施、活用。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科横断的な安全教育、健康教育の充実。 ・期間限定の部活動、通年の部活動の実施。長縄集会の取り組みの活性化。 ・栄養士、養護教諭の積極的な授業参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校ホームページでの積極的な情報提供や一斉メールの適切かつ有効な活用 ・保護者や地域への誠意ある迅速な対応。 ・地行事への積極的な参加
4	達成状況 5：十分達成できた 1：全くできなかった	5・④・3・2・1 授業を見せていただき教師の頑張りを理解できた。低学年でも言葉をきちんと選び発表し、全体的に創意工夫も感じられた。子どもたちの差も見られた。基礎基本を定着させてほしい。	5・④・3・2・1 笑顔であいさつできていた。異学年交流はとてありがたい。「実践講座」等いじめがないようにいろいろな所からアプローチをかける姿がよい。先生方の言葉に心を育てる配慮があった。	⑤・4・3・2・1 給食による食育の推進ができています。運動面も子どもたちが活躍している。全体的に元気で活発。それぞれの個性を尊重する教育姿勢が見られた。校内がよく清掃されている。	5・④・3・2・1 安全面等、地域との連携が取れていると感じた。ホームページのこまめな更新や学校便りで学校の考えがとてよくなる。大野小は開かれている。一方通行でないようになるといい。
5	学校への意見	高学年になると子どもたちも学ぶ力ができている。日頃より細やかな配慮をしていただき感謝している。地域は子どもたちを守る義務があるので学校と地域が情報を共有する体制の確立がもっと必要。たくさん活動していることをより周知できると互いに協力し合える。先生と子どもの笑顔が見える学校に。			
6	市教委への意見	子どもたちが安心安全でいられる環境、地域で守られている子どもたちの良い環境を見守ってほしい。先生方の増員、特に地域ボランティアの活用等をお願いいたします。学校が古くなり設備にガタがきている。修繕しているのは感じられるが更なる補修をお願いしたい。(スロープ、トイレ) タブレットを利用した教育の推進			

平成30年度 学校関係者評価報告書

NO. 市川市立 学校

		確かな学力	豊かな心	健やかな体	信頼される学校
1	実施重点	<ul style="list-style-type: none"> 自ら学び自ら考える児童の育成を図り、学習内容の確実な定着を目指します。 	<p>【実施重点の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間を通した実施重点を記載する。 		
2	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 個に応じた指導については、■年生については指導方法の工夫・改善が必要である。 初若年層教員が多い現状の中で、指導力の向上は、喫緊の課題である。 	<p>【現状と課題の記載】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2学期以降、自校の顕著な課題について記載する。 焦点化がポイント。 		
3	具体的な方策	<ul style="list-style-type: none"> 年度途中ではあったが、■年生に少人数指導担当者を配置し、きめ細かな個別指導に努めた。 校内授業研究会やフレッシュマン研修会等を通して、指導力の向上に努めた。 	<p>【具体的な方策の記載】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2学期以降に取り組んだ方策について具体的に記載する。 		
4	達成状況 5：十分達成できた 1：全くできなかった	5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1	5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1	5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1	5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1
5	学校への意見	<p>・ 1～3は、学校記入欄</p> <p>・ 4～6は、学校評議員会及び学校運営協議会意見記入欄</p>			

6

市教委への意見